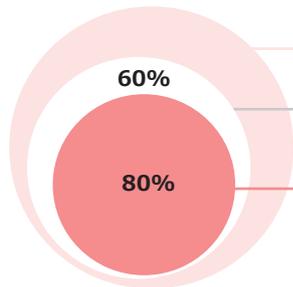


十分に活用されていない国際的な研究助成金



684の国際的な助成金のうち、
約**60%**は国外、あるいは流動性のある
プロジェクトに資金を提供（2024年6月時点）。
そのうちの約**80%**は日本国内で活動する
研究者にも入手可能だが、
機会は有効に活用されていない。

出典：scientifyRESEARCH Funding database（2024年6月時点）

日本人研究者にとっての課題

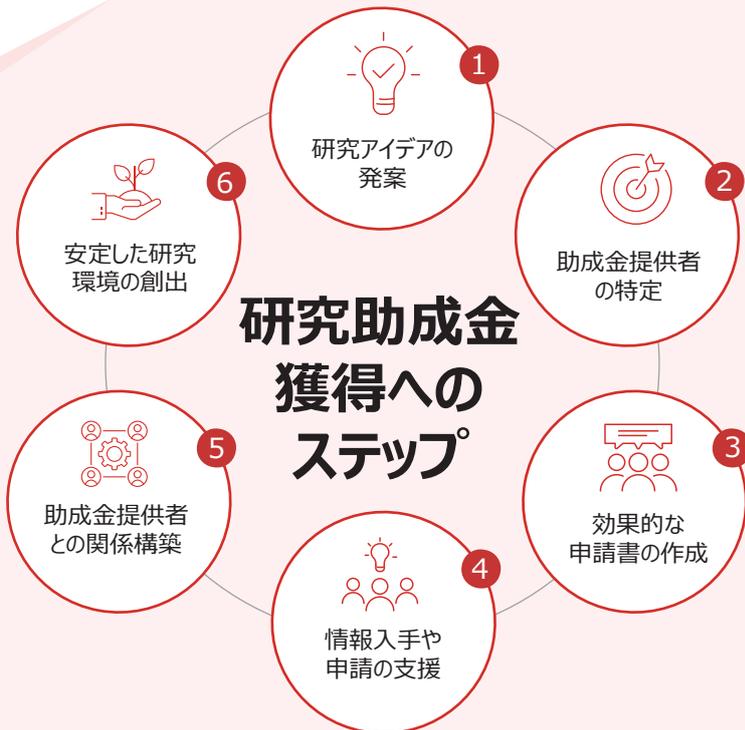


国際的な研究助成金の
効果的な洗い出しが難しい

国際的な助成金情報や申請
プロセスが構造化されていない

国際的な研究助成金の獲得を
支援するシステムがない

研究助成金 獲得への ステップ



提案



国際的な研究助成金への
アクセスを増加

国際的な研究助成金獲得の
ための専任URA職の創出

国際的な研究の奨励

助成金獲得前後の
学内の支援を充実

URAが果たす 重要な役割



国際的な研究助成金
申請プロセスを支援し、
助成金獲得の機会を拡大

国際的な研究助成金
申請書の作成支援、
助成金提供機関との交渉

助成金獲得後の、
助成金提供者との
長期的な関係の構築